

学校教育目標

自ら考え 自らの力で 未来を切り拓く宮野浦の子ども ～自律・協働・創造～

本校ホームページ <http://www.sakata.ed.jp/miyanoura/>



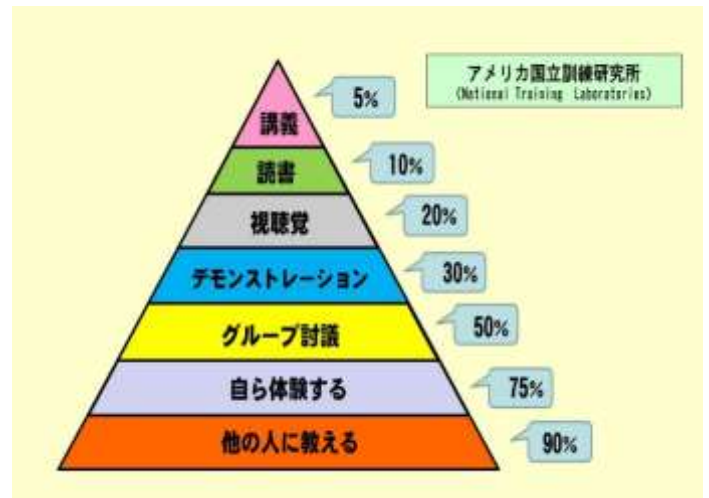
# 宮小だより



令和5年11月20日号  
発行:酒田市立宮野浦小学校

## いい授業とは

全校朝会で、「どんな授業がいい授業？」について話しました。これまで行われてきた、先生がどんどん話を進めていき、子どもたちはそれを聞いたり、黒板に書かれたことをノートに写すだけ。理解していなくても進んでいってしまう、面白いとは言えない授業についても例示しました。先生方の教科書にあたる学習指導要領にも触れ、これからは『主体的・対話的で深い学び』が学校の目指している授業の姿であることを伝えました。主体的とは、子ども自身が「自分にとって大事なことだと思えるのでやる気が出る」ということと「自分がやり方を考えて進めることができる」という意味があります。昨年来上学年がマイプラン学習に取り組んでいます。これは主体的な学びにつながっていきます。対話的とは、一人でもくもくとノートをとったり、問題を解いたりするだけでなく、先生や友だちと質問や相談をし合ったりすることです。下表のラーニングピラミッドからも分かるように、対話的な学びを行う事で学習がより定着することは明らかです。この話は学習支援部長から以前していただきました。教わったことを丸暗記してテストを受けるための勉強ではなく、原因や理由がわかり説明できる、自分から疑問を持ってその解決方法を考える、アイデアを出して作品づくりや発表に生かすことで深い学びになって欲しいと考えます。「おもしろくてためになる授業」に近づくよう、学級に応じた取り組みを継続していきます。



## ☆外部講師を招いて☆

新入学児童保護者対象の子育て研修会、PTA研修部主催講演会を兼ねた学校保健委員会に県家庭教育アドバイザー、市青少年指導センター専門員にそれぞれ講話をお願いしました。お話の共通点として、子どもたちが自律する力をどう身につけていくかということが挙げられます。うまくいかないことは学校生活の中で必ずあります。友だちとかかわり合いながら、自分の心の中で折り合いをつけることを学んでいきます。大人がそれを阻害しなければ、子どもたちは葛藤を乗り越え大きくなっていきます。子どもを愛すること、人の役に立つ喜びを味わわせることも大切です。保護者のみなさんだけでなく教師もヒントをたくさんいただきました。「自ら考え、判断し、行動する力」が育つような声かけは、「何か困っていることはある?」「これからどうしたいの?」「何か手伝えることはある?」が有効です。子育てに正解はありません。これからも子どもたちについて、みなさんと話題していきたいと思っています。

校長